月　日 名前

／100点

【答え】

【小4】国語 文章問題　物語文 1

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

四月、わたしのクラスに転校生がやって来た。黒板の前に立ったその子は、「はやしみのりです。」と小さな声で言うと、すぐに下を向いてしまった。

休み時間になっても、みのりちゃんは自分の席にすわったままだった。わたしは声をかけようか、ずっとまよっていた。何を話せばいいのか分からなかったからだ。

次の日の朝、げた箱の前で、みのりちゃんと二人きりになった。わたしは思い切って言った。

「おはよう、みのりちゃん。」

みのりちゃんは、びっくりしたように顔を上げた。

「わたしの名前、もう覚えてくれたの。」

「うん。きのう、ちゃんと聞いてたもん。」

すると、みのりちゃんの顔が、ぱっと明るくなった。

「前の学校では、名前をまちがえられてばかりだったの。『みのり』じゃなくて『みのる』って。」

みのりちゃんは、そう言ってくすくすわらった。わたしもつられてわらった。

教室までのろう下を、わたしたちはならんで歩いた。何を話そうかとまよっていたのが、うそのようだった。名前をよぶ、たったそれだけのことで、こんなにきょりがちぢまるなんて、わたしは知らなかった。

その日の休み時間、みのりちゃんは、自分からわたしの席に来てくれた。

（この問題のための書き下ろし）

問一　転校生のみのりちゃんは、名前を言ったあと、どうしましたか。「～しまった」につづくように、本文から十字までで書きぬきましょう。

すぐに下を向いて		

問二　わたしが、休み時間にみのりちゃんに声をかけられなかったのはなぜですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　みのりちゃんが、こわそうだったから。
イ　何を話せばいいのか分からなかったから。
ウ　先生に、話しかけてはいけないと言われていたから。

イ

問三　「みのりちゃんの顔が、ぱっと明るくなった」とありますが、それはなぜですか。四十字までで書きましょう。

前の学校では名前をまちがえられてばかりだったのに、すぐに覚えてもらえたから。		

問四　最後の一文から分かるみのりちゃんの様子として、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　名前をまちがえられて、まだおこっている。
イ　まだはずかしくて、自分の席から動けない。
ウ　わたしともっと話したくなり、自分から近づいてきた。

ウ

【小4】国語 文章問題　物語文 Ⅰ　答えと解説

問一（二十五点）　答え：すぐに下を向いて

解説：一つ目のまとまりの最後から。はずかしがっている様子が分かる。

問二（二十五点）　答え：イ

解説：二つ目のまとまりの最後の文から。ア・ウは本文に書いていない。

問三（二十五点）　答えの例：前の学校では名前をまちがえられてばかりだったのに、すぐに覚えてもらえたから。

解説：すぐあとのみのりちゃんの言葉から。「覚えてもらえた」ことと「前はまちがえられてばかり」だったことの二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①わたしに名前を覚えてもらえた

②前の学校では名前をまちがえられてばかりだった

問四（二十五点）　答え：ウ

解説：「自分からわたしの席に来てくれた」から。前の日は自分の席にすわったままだったこととくらべると、みのりちゃんの気持ちがかわったことが分かる。